

決算特別委員会 で 審査

9月定例会では、市長から提出された令和2年度決算議案の審査を行うため、9月13日決算特別委員会を開催しました。議長と監査委員を除く18名の委員で構成され、質疑通告制により慎重に審査を行いました。委員からどのような質疑や要望があったのか、その一部についてお知らせします。

令和2年度

コロナウイルス関連決算額 約 58億 1,990万円

(一部人件費を除く)

- 避難所となる公共施設の衛生管理事業 **1,782** 万円
→ コロナ禍でも対応できる避難所設置のための備品
- 市内保育士応援事業 **1,161** 万円
→ 市内保育士等への支援金の支給
- ひとり親世帯臨時特別給付金事業 **6,350** 万円
→ ひとり親世帯の生活困窮の緩和のための給付
- 遠隔学習機能強化事業 **5,355** 万円
→ 小中学校へのタブレット等購入
- 高齢者応援事業 **3,230** 万円
→ 高齢者への食事券配布
- 小美玉市事業持続化給付金 **1,820** 万円
→ 休業要請に応じた事業者への協力金の支給
- 大学生等生活応援支援事業 **3,060** 万円
→ 大学生等への支援金の支給
- 修学旅行等のキャンセル支援 **301** 万円
など

議会の
チェック

令和2年度決算の総括

令和2年度決算は新型コロナによる影響を大きく受けたものと推察する。財政調整基金への積立額が2億1,961万円だが、今後、この規模での積み立てが見込めるか否かの見解を伺う。

回答

コロナ禍の影響により、事業の中止や医療機関への受診控えによる医療費の減少により国民健康保険特別会計への繰出額も大きく減少した結果であり、例年と歳出動向が変化したことによる一時的なものと考えている。同規模の積立は難しいと想定されるが、適正な財政運営のため残高保持に努めたい。

決算議案

新型コロナウイルス感染症経済対策事業

特別定額給付金 — 1人につき10万円の給付
休業要請協力金 — 中小企業や個人事業主に対する市独自の協力金
児童扶養手当 — 1万円の応援給付金

決算額 5,057,816,621円

議会の
チェック

本事業は国や県からの財源だと思うが、一般財源が使われている理由は。
事業費：5,057,816千円
(国・県：5,057,197千円 / 一般財源：618千円)

回答

補助対象外の経費である備品購入によるもの。
(自動紙折機1台と窓口用パーテーション6枚)

決算議案

空の駅管理運営費

空のえき「そ・ら・ら」の健全な維持管理とともに各種事業を展開し、本市の農畜産物や地域特産品の紹介、普及ならびに地域情報の発信を行い、都市および農村の交流を促進するとともに、産業の振興および地域の活性化を図る。

決算額 66,568,940 円

議会の
チェック

数年前より駐車場不足の解消を図っていくとしているが、当年度も課題として記載されている。

回答

大型バス用6台、身障者用4台を含む計164台分が敷地内に整備されているほか、約200m離れた場所に約200台の臨時駐車場がある。大きなイベント時には臨時駐車場を使用しても不足するため、茨城空港の駐車場を借用している。これから進められる小美玉市まちづくり構想の「そ・ら・ら拡張構想」の実現に向けた取り組みの中で、検討していく。

決算議案

中小企業活性化事業

金融の円滑化を通じて中小企業の支援を行い経営基盤の強化に寄与することにより、中小企業の振興と地域経済の活力ある発展を図る。増額理由は、新型コロナウイルスの感染防止対策や市内事業者等の支援事業等の実施によるもの

決算額 135,596,048 円

議会の
チェック

新型コロナウイルス地方創生臨時交付金を活用した中小企業対象の小美玉市持続化給付金は当初予算9千万円だったが、決算は1,820万円(91件)だった。残額の予算組替えも含めた活用の流れの詳細を伺う。

回答

交付金対象事業の充当を見直し、新たに「市内保育士応援事業」「スキー教室キャンセル料金支援事業」「公園遊具設置事業」「道路台帳システムデジタル化事業」の4事業を予算化し充当している。

決算議案

希望ヶ丘公園維持管理経費

快適で安全に利用できるよう施設の適切な維持管理を行い、市民が身近な場所でスポーツレクリエーションに親める環境づくりを推進する。

決算額 19,326,840 円

議会の
チェック

希望ヶ丘公園小鳥のさえずる森樹木伐採業務委託料3,609,100円の具体的な面積と内容について、どのような伐採がなされたのか。コロナ予算なのか。

回答

希望ヶ丘公園内に植栽した樹木が数十年経過し立木が大きくなった事や近隣に民家があり法面の土が雨などで流され倒木すると大変危険な事から全体面積で1,000㎡にわたって檜木や杉の伐採を行った。コロナに対する予算ではなく、財源は森林環境譲与税基金繰入金3,000,000円、一般財源が609,100円。

決算審査は、次年度予算編成につなげるための大事な審査です。ここでの審査を踏まえ、予算編成し、予算審査を経て、事業が実施されます。このようなサイクルを繰り返し、市政運営のさらなる向上が図られます。

